

茅野市の小泉山で18日夜、市の無形民俗文化財にも指定される伝統の火祭り「上古田の火とぼし」が行われた。今年は同市豊平の上古田区に住む

### 茅野市上古田の伝統行事

茅野市の小泉山で18日夜、市の無形民俗文化財にも指定される伝統の火祭り「上古田の火とぼし」が行われた。今年、鼻歌交じりに登山を楽しむ

小学1～5年生計12人が参加。区や消防団の関係者、保護者らが見守る

中腹で休息を取って日没を待ち、秋葉神社前、奥の院(頂上)、中段、金毘羅神社前の順で小屋に火をつけた。

中、枯れ枝などを組んで4カ所に作った高さ約4メートルの「小屋」に火を付けて回り、炎に向かって

参加した子どもたちのうち年長者で、行事の段取りなどを任されていた「親方」の堤空斗君(10)は「雨で枝が湿っていたこ

と繰り返して、立てるなどして、1年の安全と五穀豊穣を祈った。

ともあり、思い通りには燃えなかったけれど、みんなで協力してやり遂げることができて良かった」と話していた。(平岡大輝)

# 火とぼし イイ！ イイ！ イイ！ 五穀豊穣など祈願

行事の始まった時期は不明で、起源も雨

ごい、虫送り、火伏せなど諸説ある。かつては毎年6月18、24日の両日に男子のみで

行事の始まった時期は不明で、起源も雨ごい、虫送り、火伏せなど諸説ある。かつては毎年6月18、24日の両日に男子のみで

ともあり、思い通りには燃えなかったけれど、みんなで協力してやり遂げることができて良かった」と話していた。(平岡大輝)



燃え上がる「小屋」に向かって「火とぼしイイイイ」と繰り返して立ち立てる子どもたち